



平成23年（第3号）

東京都へき地医療支援機構通信

【編集・発行】

東京都へき地医療支援機構
(東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課医療振興係内)

☆はじめに☆

本通信では毎号、へき地医療従事者のインタビューを中心に、へき地医療に関するさまざまな情報を発信していく予定です。

「あの人のインタビューをして欲しい」「こんな記事が読みたい」等、ご意見・ご要望がありましたら、東京都へき地医療支援機構までお寄せください。

☆東京都へき地医療支援機構無料職業紹介事業所からのお知らせ☆

東京都へき地医療支援機構無料職業紹介事業所では、へき地医療機関での勤務を希望する方に対し、就職の相談・斡旋・紹介等を行っています。

取扱職種は、医師、歯科医師、薬剤師、(准)看護師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、歯科衛生士、歯科技工士、臨床工学技士、栄養士です。

ホームページでは、へき地医療機関の求人情報を掲載するほか、無料職業紹介事業所への登録方法等もご案内していますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ先・ホームページアドレスは、裏面に記載しております。

☆東京都地域医療支援ドクター募集のお知らせ☆

東京都では、多摩・島しょの地域医療の拠点である公立病院等を支援し、地域の医療体制を確保するため、キャリアアップ勤務と都内の公立病院等での支援勤務を組み合わせた「東京都地域医療支援ドクター事業」を実施しています。

東京都職員として採用後は、周産期医療(産科・新生児科)、小児医療、へき地医療(総合・内科・外科等)、救急診療(内科・外科等)のいずれかに従事していただきます。

応募資格は、医歴5年以上、59歳以下の医師です。詳細は、以下のホームページをご覧ください。皆様のご応募をお待ちしております。

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/onota/ishi_chiiki_iryoshiendoctor/index.html

☆新・支援機構担当官から☆

東京都へき地医療支援機構 専任担当医師 井上 大輔



皆様こんにちは。東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課の井上と申します。前任の田口医師の後を引き継ぎ、平成23年4月より、へき地医療支援機構専任担当医師を拝命いたしました。どうぞよろしくお申し上げます。

私は、平成14年に自治医科大学を卒業し、都立病院で初期研修後、島しょ・山間へき地の医療機関に4年間勤務いたしました。そして、現在は東京都庁においてへき地医療行政に関わる仕事をしております。

へき地医療は、とても“おもしろい”仕事だと思います。未曾有の被害をもたらした東日本大震災ですが、そんな中でも助け合う人々に東北人の地域力の高さを感じました。へき地とは、まさしくこの地域力が色濃く残っている場所です。人と人をつなぐ、医療の本来の姿を実感することができます。しかし、へき地医療に興味をもたれる方は多いと思いますが、従事するには敷居が高いのが現状ではないでしょうか。私自身は自治医科大学卒業医師という、システム化された中にいたからこそ、ここまでへき地医療に関わられたと思います。

この「東京都へき地医療支援機構通信」は、へき地医療に興味をお持ちの医療従事者の皆様への情報提供を行ったり、へき地町村の医療従事者確保の取組みを支援したり、また、へき地医療の普及啓発を行うために発行しております。皆様のお力となって、少しでもへき地医療に関わっていく敷居を低くできれば、と思います。今後とも、よろしくご愛読の程をお願い申し上げます。



都庁第一本庁舎
(ツインタワー)
見学可能です！



◇◆へき地町村で働く医療従事者の方々にインタビューしました◇◇



鈴木さん、藤本さん、お忙しい中快く取材に応じていただき、ありがとうございました。

看護師 鈴木 愛子さん (31歳)
(神津島村国民健康保険直営診療所)

薬剤師 藤本 健太郎さん (28歳)
(国民健康保険八丈町立病院)

◆神津島で勤務するようになったきっかけは？

出身が神津島なのですが、父の具合が悪化した際帰島し、その頃ちょうど診療所で看護師募集をしていたため、働かせていただくことになりました。

◆仕事内容を教えてください。

診療介助や検査、点滴、健診、往診、介護診、急患対応など、業務内容は多岐に渡ります。

島で唯一の医療機関なので、乳幼児から高齢者の方まで、あらゆる疾患の患者さんが訪れ、複数科に渡る広い範囲のことが学べます。

◆現在の職場に勤務して良かったことは？

患者さん1人1人に時間をかけて向き合う事ができ、体調面の他、社会的背景や家族構成も考慮した上で看護を行える点が良いと思います。

お爺さん、お婆さんの話すことが面白かったり、可愛く思う時があり、癒される事も多いです。

◆休日は何をしていますか？

眺めの良い喫茶店に行ったり、同級生と食事をしたりします。また、登山(天上山が有名です!)やシュノーケリング、BBQをすることもあります。

◆へき地医療を希望する医療従事者へのメッセージ

へき地では自然と共に暮らし、人間らしく生き、最期を迎えるとはどのような事か、家族の温かさ、近所の人々の助け合いなど、忘れていた日常の幸せを感じることができるようになります。

2~3年の病棟勤務の経験があれば、必要な技術は勤務先で覚えるので大丈夫だと思います。



<<スタッフの皆さん(診療所待合室にて)>>

◆八丈町で勤務するようになったきっかけは？

大学院在学中に、求人を見た研究室の教授が冗談混じりに勧めてきたのがきっかけです。元々地域密着型の医療に興味があり、島で暮らすという経験自体、そう簡単にできるものではないと思い、機会があるならば…ということを決断しました。

◆仕事内容を教えてください。

業務の8割以上が外来処方箋の調剤です。少なくとも100枚、多いと300枚超の処方箋が午前中のうちに発行されるため、その調剤に追われます。

午後診療がある日は午後もずっと調剤をすることもあります。その他、医薬品の在庫管理や注射薬の払い出し等を行います。

◆現在の職場に勤務して良かったことは？

施設の規模が小さいため、各職種間における壁をあまり感じないことです。気軽に医師に相談できますし、大きな施設に比べると関わるのが少ない職種の方たちと話す時間があるのは非常に有意義です。雑談をする中でも勉強になることは多いです。

◆現在の職場に勤務して大変だったことは？

とにかく人員が少ないことです！

◆へき地医療を希望する医療従事者へのメッセージ

日中は仕事、夜・休日は自由時間、とメリハリを持てるのが魅力的です。島内はスポーツも盛んです。

現在も薬剤師の募集を行っておりますので、皆様のご応募をお待ちしております。

観光ついでに病院見学も歓迎します！



<<薬局スタッフの皆さん>>

八丈病院の見学希望の方は、こちらまでご連絡ください。

編集・発行

東京都へき地医療支援機構 (東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課医療振興係内)

【電話】03-5320-4428 【Fax】03-5388-1441 【E-mail】S0000299@section.metro.tokyo.jp

【HPアドレス】http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/joho/shokuin/tousyo_bosyu/index.html

☆☆ご意見・ご感想をお寄せください☆☆